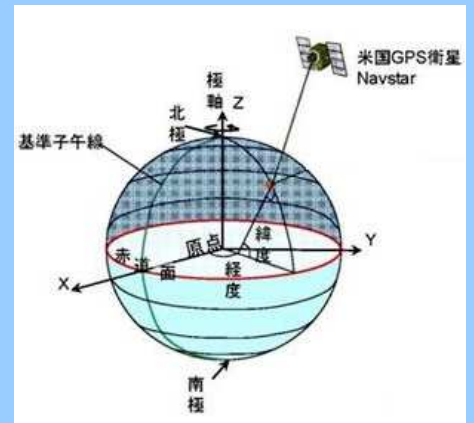
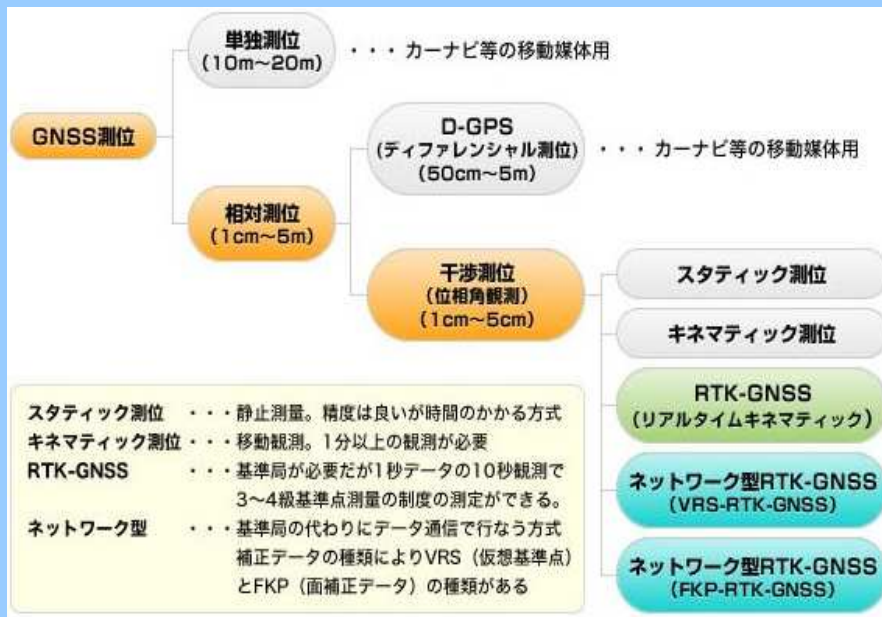


GNSS測量 (全地球航法衛星システム)

GPS衛星(米国)、日本の準天頂衛星(QZSS)、GLONASS衛星(ロシア)、GALILEO衛星(欧州連合)から電波を受信して地球の位置を決定する衛星測位システムです。カーナビゲーションや携帯電話の位置情報システムなど、身近にも広く使われています。

GNSS (Global Navigation Satellite System)とは複数の衛星測位システムを含む総称です。



◆ GNSS測量のメリット

建物があっても計測可能

- ◎ 従来の測量(トータルステーション・他)では、天候に左右され精度が大きく変わります。また悪天候の場合観測ができない場合もありましたが、GNSS測量は天候による影響をほとんど受けることなく24時間観測が可能です。

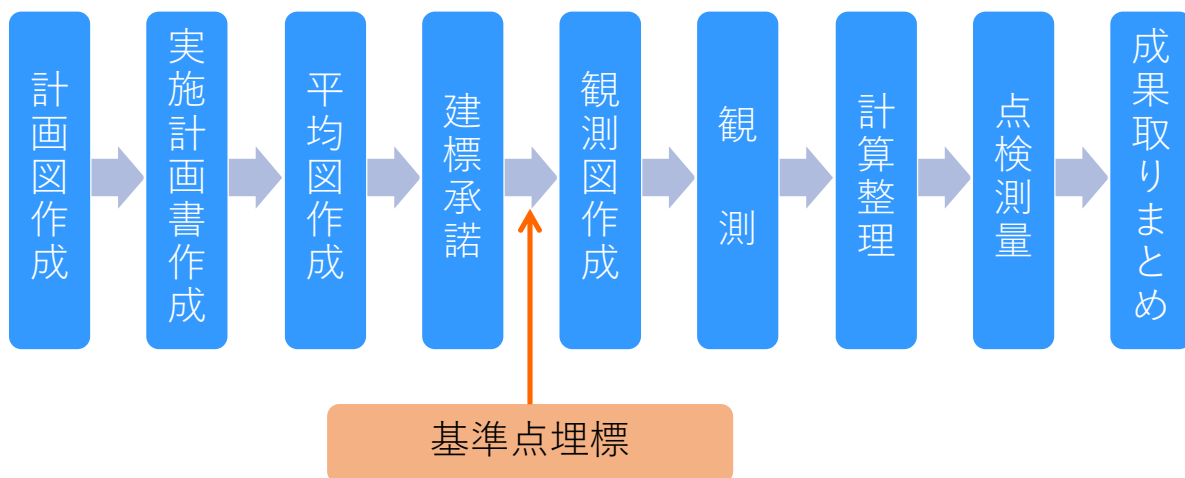
天候関係なく計測可能

- ◎ 測位衛星からの情報を元に計測するので、高い建物や障害物あっても問題なく計測できるようになっただけでなく誤差も少なく計測が可能になってきています。

短工期・省コスト化が可能

- ◎ 直接GNSS衛星からの電波を受信・測位するため、また、電子基準点を使用することにより、新点のみの観測だけとなり大幅に効率化が図れます。

◆ 作業手順



◆ 観測風景

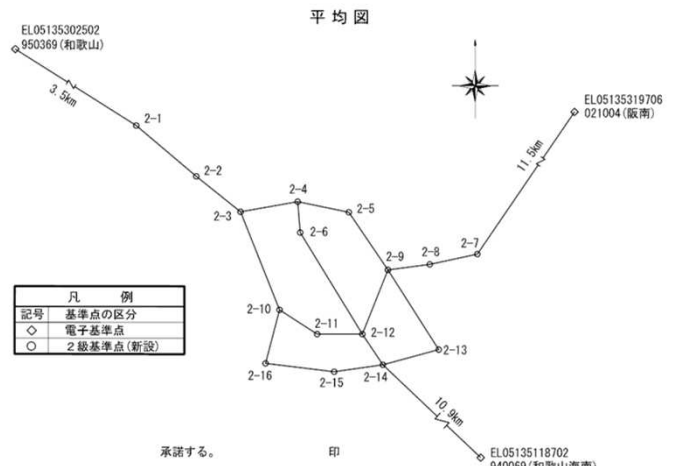


◆ 図面作成

◇ 平均図作成について

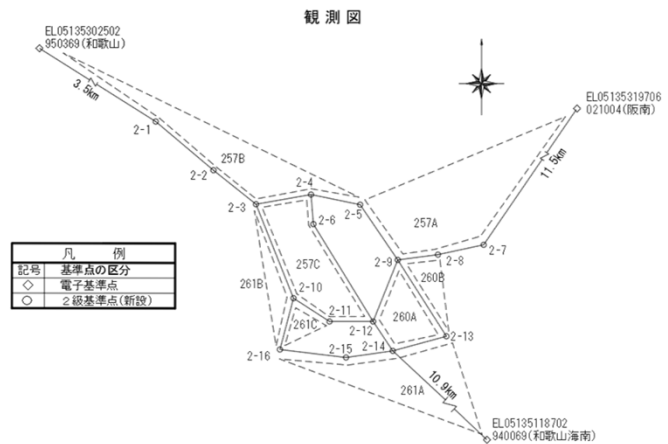
計画範囲に引用する与点を確認して作業規程の条件を加味し、新点を利用しやすく保存の良い場所に計画する。同時に監督員に国土地理院に実施計画書を提出する。

現地踏査を行い観測条件等、建標承諾が取れる位置であるか現場で最終確認を行い平均図を作成し監督員に承諾を求める。



◇ 観測について

観測計画は、受信機の台数で効率よくセッションを設定して観測スケジュール表を作成する。交通事情、受信機のトラブル等の恐れがあるので余裕のある計画が望ましい。



◇ 基礎解析について

基線解析図を作成してから解析を行うと誤りが少なく計算できる。

点検測量は3次元網平均計算まで終了し、点検結果の精度が悪い路線の箇所を抽出して行うのが望ましい。

